

# 「マミジロ、来てくれた！」

林 孝行 (富士宮市大岩)



今年の夏は暑かつ気になっていた。た。このため屋外での野鳥撮影は大変厳しいものがあった。そこで避暑をかねて富士山麓に出かけた。昨年は運よく念願のコマドリを撮影でき、今年は何と「マミジロ」に出会ってしまった。というのは、1985(昭和60)年に発行されていた「写真集『富士の鳥』」を見ている。富士の鳥についての記述があり、この野鳥は見晴らしのよい所で、狙って撮れることで、必ず撮れる野鳥ではないようだ。

5月に入り、富士山麓に通うこと8回目。隣にいる顔見知りのカツラマンの「おい！」と、マミジロについてメラマンの「おい！」との言葉で、一気に脳が覚醒する。動き始める。短距離選手と同じで無呼吸の興奮状態であつた。

この写真集は、富士山麓の野鳥の瞬間をすべてフィルムカメラで撮影し、「ウーン、すごい」と思わせる写真の連続で、さらに野鳥生態解説、撮影方法についても細かく記述されてしまつた。これが、何とかピンと合った写真である。マミジロはツグミ連続で、さらに野鳥生

始。短距離選手と同じで無呼吸の興奮状態であつた。

この仲間ではあるが、オスは全身がほぼ黒く、眉のみ白い。ここから和名マミジロ(眉白)の名が付いたとのこと。

ツグミ科に属するが、その中でも凛とした品を感じるのだ。富士山麓に計23回通ったのは、この1回のみであった。よく来てく

やつとどうえて連写開れました！

## フォトギャラリー